

中の島地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	<p>(事業の必要性)</p> <p>札幌市中の島地区は、平成26年に時間最大44mm/h（豊平区土木センター観測）の大雨により、床上浸水等の浸水被害が発生したほか、平成28、30年にも浸水被害が発生している地区である。本地区は国道453号線などの主要幹線道路を有し、その利便性から商業施設が多く立地する、都市機能が集積した地区であり、さらに避難所、要配慮者関連施設も立地しているため、生命の保護、都市機能の確保の観点から、早急な浸水対策が求められる。</p> <p>(該当する地区要件)</p> <p>当該地区は、災害対策基本法に基づく地域防災計画に位置づけられた施設（緊急輸送道路及び災害時基幹病院）が存在し、商業・業務施設等の人口が集積している地区である。また、内水浸水シミュレーションにより既往最大降雨（50mm/h）で浸水面積が約16ha想定されることから、地区要件に該当する。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：50mm/h ・目標とする理由：大正2年8月に札幌市で記録した既往最大降雨：50mm/h ・ハード整備による整備水準の目標：35mm/h（10年確率） <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i)生命の保護の観点：地下空間を有する施設への浸水を軽減する。 ii)都市機能の確保の観点：緊急輸送道路の浸水深を30cm程度以下にとどめ、機能保全を図る。 iii)個人財産の保護の観点：床上・床下浸水等の建物被害を軽減する。 iv)その他：特になし <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により35mm/h（10年確率）の降雨において浸水被害を軽減する。 ii)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 内水ハザードマップの作成・公表により情報提供を行い、止水板の設置や土のう積み等の自助行動を促進するとともに、災害対策本部訓練等を実施し、下水道管理者以外の部局とも連携して被害軽減に取り組むなど、それぞれの主体が対策を実施することにより、施設整備で対象とする降雨を上回る既往最大降雨（50mm/h）等に対して、浸水被害の軽減を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (平成 年 月 日策定済み) ・ 策定予定 (令和3年度策定予定) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	雨水管渠の整備 延長 1.01km
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	内水ハザードマップの作成・公表
			下水道管理者以外	災害対策本部訓練の実施
	自助	ハード対策		地下空間を有する施設における止水板の設置や土のう積み等
		ソフト対策		

管渠調書							
管渠の名称	処理区の名称	合・ 雨の 別	内のり寸 法 (mm)	延長 (m)	概算事業費 (百万円)	工期	備考
I-05000	豊平川処理区	雨	1,100	65	77	令和5年度	
	豊平川処理区	雨	1000	225	249	令和5年度	
	豊平川処理区	雨	900	40	41	令和5年度	
	豊平川処理区	雨	450	50	30	令和5年度	
I-05005	豊平川処理区	雨	600	65	54	令和7年度	
I-05006	豊平川処理区	雨	700	140	126	令和6年度	
	豊平川処理区	雨	500	155	109	令和7年度	
	豊平川処理区	雨	400	105	51	令和7年度	
I-05007	豊平川処理区	雨	600	160	133	令和6年度	
調査検討	豊平川処理区	雨	—	—	32	令和4年度	
計				1,005	902		

年度計画（百万円）

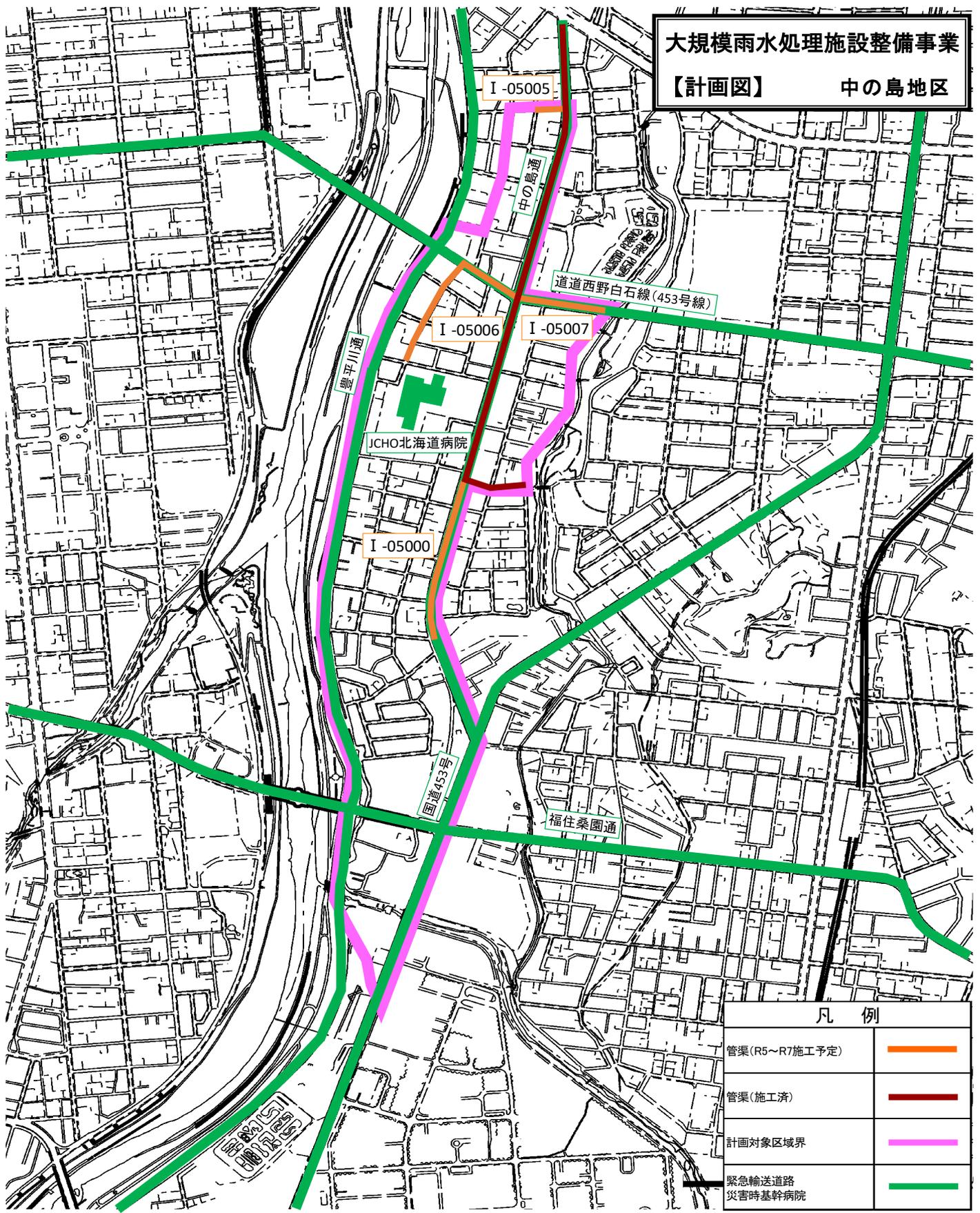
名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
I-05000		397			397
I-05005				54	54
I-05006			126	160	286
I-05007			133		133
調査検討	32				32
計	32	397	259	214	902

項目	内容・施策等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>浸水被害の軽減便益：1,486百万円が削減される。</p> <p>（「下水道事業における費用効果分析マニュアル（案）令和3年4月国土交通省水管理・国土保全局下水道部」に基づき、算定）</p> <p>B/C：1.7（評価期間を50年と設定し、費用対効果を算定）</p> <p>経済的内部収益率：7.9%</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップの作成・公表により情報提供を行い、止水板の設置や土のう積み等の自助行動を促進するとともに、災害対策本部訓練等を実施し、下水道管理者以外の部局とも連携して被害軽減に取り組むなど、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害の軽減を図る。</p>
放流先河川との調整状況	<p>当該地区の雨水の放流先である豊平川の整備水準は、本計画の整備水準の目標（10年確率降雨）を上回っている。</p>
その他	

大規模雨水処理施設整備事業

【計画図】

中の島地区



凡 例

管渠(R5~R7施工予定)	
管渠(施工済)	
計画対象区域界	
緊急輸送道路 災害時基幹病院	